

地域の力で大洲に活力を

大洲市地域づくり表彰が1月12日(日)、大洲市役所2階大ホールで開催され、3個人1団体が表彰されました。

大洲市地域づくり表彰とは、長年にわたり豊かで住みよい地域づくりなどに貢献した市民または団体に対して、その功績をたたえ、表彰するものです。平成24年度に創設され、今年度を含め16個人と30団体を表彰しています。

あいさつで二宮市長は「受賞されたみなさんの献身的な活動は、

本市を盛り上げる原動力になる。今後とも、豊かな地域づくりにお力添えをお願いしたい。みなさんのますますの活躍を期待している」と述べました。

受賞者を代表して手水川公さんは「私たちは、地域のためにできることを、微力ながら続けてきた。その活動がこのように評価され、大変光栄に思う。今後も、地域の発展を目指し活動に励みたい」と受賞の喜びと今後の抱負を述べました。



【受賞されたみなさん（写真左2番目から）】

- ▽久保 岩子^{いわこ}さん（今坊、環境・美化活動）
- ▽武田 麗子^{れいこ}さん（田口、福祉活動）
- ▽手水川 公^{てみずがわ いさお}さん（若宮、地域づくり活動）
- ▽平野煙友会^{ひらの えんゆうかい}（平野、地域づくり活動）

寒さに負けない初泳ぎを披露

新成人の前途を祝福する第66回大洲市寒中水泳大会が、1月13日（月・成人の日）、柚木如法寺河原で行われ、新成人を含む2歳から77歳までの73人が参加しました。

主催者である主馬神伝流保存会・大洲水泳協会の竹田千尺会長は「現在、公認された日本泳法は13流派あるが、多くの流派で後継者不足に悩まされている。この大会を通じて、若い人にも日本の伝統ある泳法を知ってもらい、興味を持ってほしい」とあいさつしました。

全国に伝承されている日本泳法のうち、神伝流

は、全国に最も普及した流派の一つで、大洲が発祥由来の地とされています。主馬神伝流保存会の会員からは、甲冑を身に付けたまま泳ぐ「甲冑業」や、立ち泳ぎをした状態で刀を抜く「武者業」などを披露し、川岸に集まった多くの観客を魅了していました。

当日は、気温・水温ともに7度と冷え込みが強まりましたが、参加したみなさんは、身を切るような水の冷たさに歯をくいしばりながら泳いでいました。愛媛大学や松山大学の学生による「水書」や「日傘」なども披露され、観客からは大きな拍手がわき起こりました。



基盤上の熱い戦い ～第109回新春囲碁大会～

恒例の新春囲碁大会が、1月15日(水)、長浜ふれあい会館で開催されました。碁石が奏でる音が会場に響き渡り、新春の和やかな雰囲気を一変させていました。参加した囲碁愛好家10人は、オリンピック・パラリンピックに出場する一流のアスリートさながらに、碁盤上で熱い戦いを繰り広げました。

入賞者は次のとおりです。

【優勝】一色 ^{いっしき} 壮一 ^{そういち} さん (長浜)

【準優勝】亀田 ^{かめだ} 哲久 ^{てつひさ} さん (豊茂)

【第3位】山下 ^{かみもと} 一仁 ^{かずひと} さん (長浜町上老松)



農業の振興に一役

楽天農業株式会社の大洲冷凍工場が大洲市春賀に完成し、オープニングセレモニーが2月3日(月)に行われました。工場では、市内をはじめ県内各地で栽培した有機野菜の冷凍加工や出荷などが行われます。

セレモニーで、代表取締役の遠藤忍 ^{しのぶ} さんは「日本の農業を元気にするために立ち上がってきた。これからも農村地域でのモデルケースとして事業を展開していきたい」とあいさつしました。



男女共同参画を目指して

令和元年度男女共同参画社会づくりセミナーが、1月19日(日)、大洲市総合福祉センターで開催されました。

ユーモアセラピストとして活躍する米津さち子 ^こ さんによる講演では、日常における笑いの大切さや、笑いを引き出す話法についての話がありました。また、自身が女性店長として働いていたことを振り返り、以前には女性が管理職として活躍する難しさがあったことも語りました。会場に集まった約180人の参加者は、終始笑顔を見せ、熱心に耳を傾けていました。



心も体もポカポカに

第39回七草がゆ歩こう会が1月11日(土)に開催され、約300人の市民が参加しました。

開会式では、肱南自治会長の山内勝之 ^{かつゆき} さんが「今日は、無病息災を願って七草がゆを食べます。自分のペースで歩き、ゴールを目指してください」とあいさつしました。

大洲市民会館を出発した参加者は、すくなひこな ^{すくなひこな} 少彦神社や大洲神社を参拝し、ゴールの城山公園までの約7kmを歩きました。ゴールでは、大洲婦道会などが用意した七草がゆが振る舞われ、参加者は口いっぱいにおかゆを頼張っていました。



第19回「レンガのある風景」はがきコンクール作品展

第19回「レンガのある風景」はがきコンクールの表彰式が、1月26日(日)、おおず^{れんが}赤煉瓦館で開催されました。大洲市内外より多数の作品が寄せられ、会場には個性豊かな作品が展示されました。

入賞したみなさんは次のとおりです。(敬称略)

部門・賞名		氏名	部門・賞名	氏名
大洲市長賞		川村 琴乃 <small>ことの こと乃</small>	最優秀賞	都築 采垣 <small>さいか さい垣</small>
山田きよ賞		中井麻由子 <small>まゆこ 中井</small>	優秀賞 ((一社)キタ・マネジメント賞)	小林 菜々 <small>なな 小林</small>
			優秀賞 (大洲ユネスコ協会賞)	高木 理愛 <small>りな 高木</small>
低小学 学年生	最優秀賞	山川 雄大 <small>ゆうだい 山川</small>	最優秀賞	宮地 政弘 <small>まさひろ 宮地</small>
	優秀賞 (国際ソロプチミスト大洲賞)	中塚 そら <small>そら 中塚</small>	優秀賞 (大洲ライオンズクラブ賞)	川村 紀子 <small>のりこ 川村</small>
	優秀賞 (赤煉瓦倶楽部おおず賞)	稲田 璃風 <small>りか 稲田</small>	優秀賞 (大洲ロータリークラブ賞)	三好 隆 <small>たかし 三好</small>
高小学 学年生	最優秀賞	西山 美樹 <small>みき 西山</small>	最優秀賞	武内 勇雄 <small>いさお 武内</small>
	優秀賞 (大洲史談会賞)	今岡 諒伍 <small>りょうご 今岡</small>	優秀賞 (大洲郵便局賞)	宮地 政弘 <small>まさひろ 宮地</small>
	優秀賞 (大洲喜多倫理法人会賞)	立林 玲杏 <small>れいあ 立林</small>	優秀賞 (愛媛県建築士会大洲支部賞)	石橋 香織 <small>かおり 石橋</small>

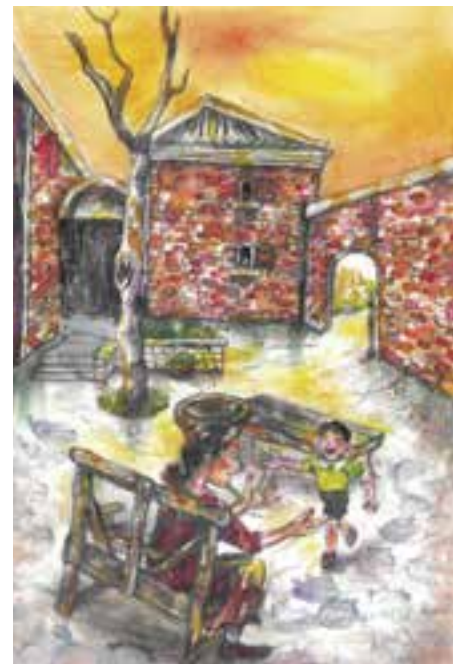
入賞作品介绍 (一部抜粋)



【大洲市長賞】「光にてらされて」



【中学生の部最優秀賞】
「れんがに区切られた鯉だけの世界」



【山田きよ賞】「夕焼け レンガ色」



【小学生低学年の部最優秀賞】
「赤レンガかん」



【小学生高学年の部最優秀賞】
「赤レンガ館と花火」



【高・大・一般の部最優秀賞】
「また来たくなるよなあ…」



【写真の部最優秀賞】
「憩いの広場」

【長芋ソースのヘルシーグラタン】



材料 (4人分)	
長芋ソース	
ナガイモ	200g
木綿豆腐	100g
マヨネーズ	大さじ1
麦みそ	大さじ1
具材	
新タマネギ	1/2個
ショルダーベーコン	100g
ゴボウ	100g
ブロッコリー	100g
生シイタケ	中4枚
塩こしょう	少々
オリーブオイル (炒め用)	大さじ1
とろけるチーズ	50g

作り方

- ① ボウルにすりおろしたナガイモ・すりつぶした豆腐・マヨネーズ・麦みそを加えて、混ぜ合わせる。
※豆腐は、ソースになるので、水気があってもOK。
- ② 新タマネギは薄切り、ベーコンは1cm幅にそれぞれ切る。
- ③ ゴボウはたわしで洗い斜めに薄切り、生シイタケは軸の汚れを取り6等分する。ブロッコリーは小房に分け耐熱容器に入れ、レンジにかけて少し柔らかくしておく。
- ④ フライパンにオリーブオイルを入れ、③のゴボウの両面を焼き、取り出しておく。同じフライパンで、②③を加えて炒め、塩こしょうで味を調える。
- ⑤ 耐熱皿に、分量外のオリーブオイルを薄く塗り④を入れ、①・とろけるチーズを載せる。
- ⑥ 250℃に温めたオーブンで10分程焼き、チーズに焦げ目がつくと出来上がり。

ナガイモと豆腐を使用して、ホワイトソースを使わない野菜たっぷりのヘルシーグラタンです。野菜類は、他のものに代わっても大丈夫ですが、食べやすい硬さに統一しましょう。なじみのあるみそ味ですので、とても食べやすいグラタンです。ぜひ、チャレンジしてください。

【レシピ提供：大洲市保健センター】

野鳥



コクマルガラス(黒丸鳥)
スズメ目 カラス科
全長 33cm

中国大陸から越冬のために日本へやって来る、ハトくらいの大きさのカラスの仲間です。普段は、同じ時期にやって来るミヤマガラスに混じっていますが、数は多くありません。

平地で農業が盛んだったころは、毎年見られたのですが、宅地化によって生息場所を狭められたのか、めったに出合えなくなりました。時々、成鳥の白黒パンダ模様が出現するとテレビで話題になったりします。普通に見かけるカラスも、最近の目撃例(移入種)を含めると県内で8種類の仲間に出会うことができます。たかがカラス、されどカラス。野鳥はとても奥の深い世界ですが、冬こそ出合えるチャンスです。

さあ、みなさんも野鳥観察(バードウォッチング)に出かけてみませんか。そこにはみなさんの知らない素晴らしい世界が待っています。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト④

文化財



もくぞうとぼつびしゃもんてんりゅうぞう 1軀
県指定有形文化財(彫刻)
金竜寺所有

この木像のある金竜寺は、八多喜地区の北側高地にある手成に位置しています(現在は廃寺となっています)。

本像は、像高174.5cmにもなる大きさでありながら、足元の地天女を含むほすべてが広葉樹の一枚から豪快に作り出されています。造立年代は、平安時代(9~10世紀)と考えられていますが、金竜寺に残る棟札には天長元年(824年)3月3日、この地に本像が飛来したとも記されています。

像全体の表面は風化していますが、重量感のある体型と大きな目が往時の偉容を今に伝えていません。本像は、兜跋毘沙門天像の発展を知るうえで、重要な作例と考えられることから、大洲市だけでなく県内においても大変貴重な仏像といえます。

(昭和40年4月2日指定)